

いまいま亀山

発行 日本共産党亀山市議団

来年度予算案が明らかに

一般会計予算 再開発事業の終了で3.1%減

3月定例議会が2月24日に開会し、亀山市の来年度予算案が提案されました。党議員団の分析はこれからですが、予算案の主なものを紹介します。

来年度予算案の概要

一般会計予算は、前年度より3.1%減の213億9千万円となりました。これは亀山駅前再開発事業が終了し、国庫支出金や市債などが大幅に減ったことが主な要因です。

使い道が自由な市税と地方交付税は、市税が個人、法人市民税の増収を見込み前年度より約4億円増加した一方、市税収入の増加に伴い地方交付税は前年度より1億2,600万円の減となりました。この2つで歳入予算全体の約6割を占めています。

また国庫支出金（補助金）や市債（借金）は、再開発事業の終了などで大幅な減になっています。さらに、歳入不足を補うための財政調整基金（貯金）の取り崩しは、前年度より6千万円減の7億3千万円となっています。

一方、歳出ではエネルギー価格の高騰に伴い、各公共施設の光熱水費等で約1億3千万円の増、溶融炉で使用するコークスの値上がりで約1億6千万円の増となり、経常経費のみで約4億円の増となっています。

東小学校体育館の屋根の全面改修に3千万円

歳出の主なものでは、昨年6月議会の一般質問で取り上げた亀山東小学校体育館の屋根の全面改修のための予算3千万円が計上され、夏休み中に工事を行う予定です。

サル被害防止に3,540万円

同じく昨年12月議会の一般質問で取り上げた獣害対策では、ニホンザル等獣害対策事業として3,540万円が計上され、「サルによる農作物被害の増加や人的被害の発生を受け、サル対策チームを設置し、市街地における捕獲圧の強化や生息環境調査の実施など被害防止に向けた対策を重点的に取り組む」としています。

東野公園体育館に空調を設置へ

小、中学校全クラスでの35人以下学級の実施へ

党議員団が長年、要求してきた予算もいくつか盛り込まれました。①指定避難所である東野公園体育館に空調設備を設置するため、東野公園体育館改修事業880万円が計上され、令和6年度に空調設備、自家発電設備を整備するための設計等委託料、②継続して取り組まれている少人数教育推進事業2,624万円が計上され、小、中学校全クラスでの35人以下学級の実施です。

城東地区コミュニティセンターの建設と旧センターの解体

その他、①地区コミュニティセンター充実事業1億2,080万円が計上され、城東地区コミュニティセンターの建設（市民協働センター敷地内）と旧センターを解体し駐車場として整備、②公園施設長寿命化事業7,300万円が計上され、亀山公園の大型遊具を更新、③道路新設改良工事事業（川合9号線）2,200万円が計上され、宅地開発等により交通量が増加している市道川合9号線（国道306号線から東方面に走る農道）の全線^{たいじょうほうしん}拡幅に着手、④予防接種費用助成事業1,430万円が計上され、これまでの予防接種に加え帯状疱疹ワクチンを助成対象に、⑤使用済み紙おむつの回収、処理250万円が計上され、公立保育所等で回収、処理を行い保育サービスの向上、⑥災害時応急活動充実強化事業2,477万円が計上され、2トントラックの購入など災害時の応急対策活動の充実、強化などです。

リニア基金に5千万円の積み増し 年度末には19億5千万円に

またリニア基金には来年度も5千万円が積み増しされ、来年度末には19億5千万円にもなります。

会派の代表質問は3月8日（水）に

市が発表した来年度予算案の概要をお知らせしました。この来年度予算案は、3月8日から始まる本会議から質疑、質問が始まります。党議員団の質疑、質問の日時、内容が決まり次第お知らせします。